

BUSINESS REPORT

第74期決算期 2025年1月1日～2025年12月31日

株式会社ナカニシ



NSK
Create it 

Top Message [株主の皆様へ]

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度は、米国の関税政策や中国の医療費削減政策に加え、中近東における紛争拡大など、地政学リスクが顕在化した事業年度となりました。こうした外部環境の影響を受けつつも、世界の各市場では需要の持ち直しが続いたことに加え、当社が進めてきた製品ラインアップの強化や販売体制の拡充が奏功し、歯科・DCI・外科・機工の各事業は堅調に推移しました。その結果、連結売上高は811億円、EBITDAは198億円、経常利益は169億円となりました。一方、米国関税の影響を受けていたDCI社ののれんについて期末に減損処理を行ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は23億円の損失となりました。

なお、この減損はキャッシュアウトを伴わない一時的な会計処理であり、当社の財務状況やキャッシュ創出力に影響を及ぼすものではありません。当社は今後も変化する事業環境を見据えつつ、持続的な成長と企業価値向上に取り組んでまいります。

中期経営計画「NV2030」に掲げた“攻守兼備の事業戦略”は着実に進展していると考えています。世界に広がるナカニシグループが「ONE TEAM」となり、創業以来磨き続けてきた革新的“削るテクノロジー”を最大限に活用し、お客様に感動を与える製品・サービスを提供し続けてまいります。

株主の皆様には、当社の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

中西 英一



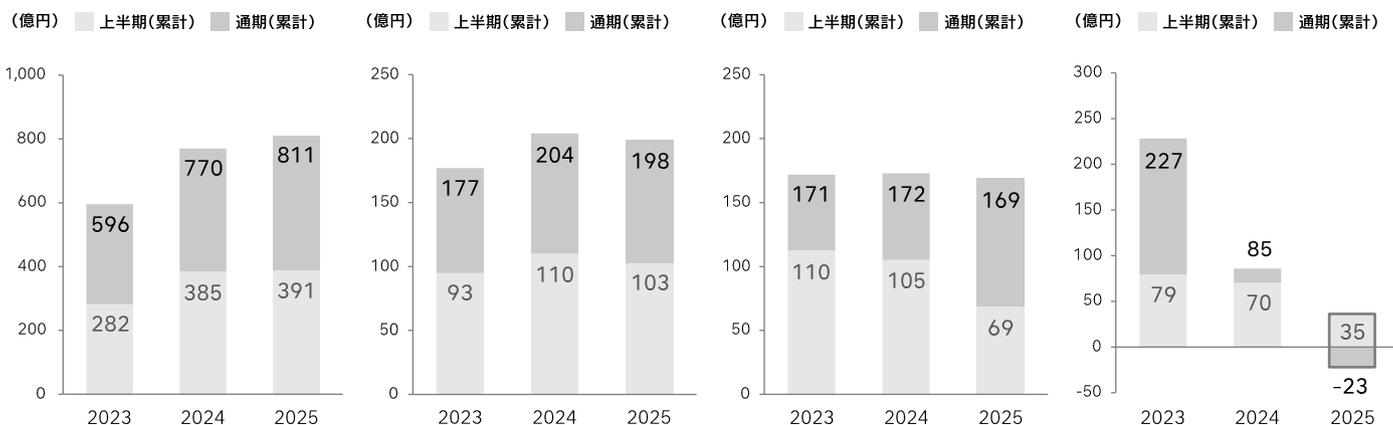
Financial Summary [決算概要]

2025年度の業績概要

2025年度の売上高は、外科が大きく伸ばしたほか、歯科・DCI・機工も堅調で増収となりました。成長を目指して増やした販売費・人件費は増収に伴う利益増で吸収できたものの、米国関税の影響で利益が約13億円減少したことが響き、EBITDA・経常利益は減益となりました。また、DCI減損処理や過年度法人税等の計上により、当期純損失23億円となりました。

売上高		EBITDA*		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
811億円	前年比 +5.4%	198億円	前年比 -2.7%	169億円	前年比 -2.0%	-23億円	前年比 -

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額



2026年度業績予想

2026年度は、回復基調に入った世界需要を着実に取り込み、歯科・DCI・外科・機工各事業で5%超の増収を見込むほか、2026年3月に公表したアクラカット買収の新規連結効果も重なり、二桁増収を見込みます。事業毎にメリハリをつけた販売管理費でEBITDAは増益を見込むも、前年度に計上した為替差益の剥落で経常利益は減益となる見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、DCIの減損等の一過性の費用の剥落によって黒字転換する見込みです。

売上高	901億円	前年比 +11.1%
EBITDA	218億円	前年比 +9.8%
経常利益	160億円	前年比 -5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	111億円	前年比 (黒字転換)
想定為替レート	1米ドル = 150円 1ユーロ = 170円	

Business Domain [事業領域]

歯科事業 Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ハンドピース
Ti-Max Zシリーズ



インプラントモーター
Surgic Pro2



予防歯科製品
Varios Combi Pro2



リファイン
予防歯科製品 PTX

DCI事業 DCI Business

2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア
DCI Edge Series 5+



デンタルキャビネット



デンタルパーツ

外科事業 Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。

2026年に買収したアクラカットは外科事業に含まれています



外科用電動ドリル
Primado2 コンソール



モーター&アタッチメント
P200-SMHシリーズ



ティスポーザブル
バー



アクラカット
頭蓋骨穿孔器

機工事業 Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用されるモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。



スピンドル
E-4000シリーズ



スピンドル
E-3000iシリーズ



電動ハンドグラインダー
Emax EVolution



イエガー
高周波スピンドル

Sales Trends [各事業の売上推移]

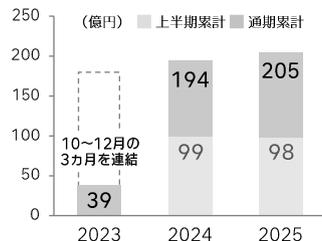
歯科事業



販売動向

国内	➔	流通網改革の影響でQ3まで販売停滞もQ4に大幅伸長。OEMも二桁増収
欧州	↗	市況は厳しいものの高い製品力で販売伸長。予防歯科新製品も増収に寄与
北米	↘	自社ブランドはQ4に大幅伸長して年間売り上げは横ばい。OEM販売は減少
アジア	↘	中国需要は底這い。入札獲得するも価格競争激化で減収。韓国・アジアも軟調
その他	↗	紛争続く中近東は微減、豪州では入札獲得し微増、南米・ロシアは大幅増収

DCI事業

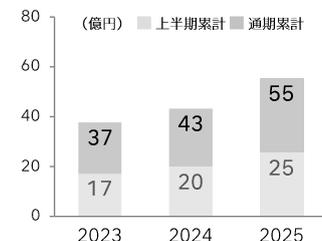


販売動向

北米	↗	<ul style="list-style-type: none"> 米国市場全体のデンタルチェアの販売台数は前年比+1%と横ばい DCIのデンタルチェア販売は、最大手DSO向けが軟調だったものの、中小規模DSO向けや新規取引ディーラー向け販売が大幅伸長し増収
----	---	--

*2023年度は、DCI社の10月～12月(3カ月)業績のみ連結しています

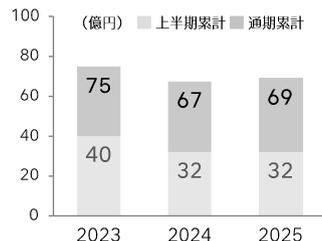
外科事業



販売動向

国内	↗	新規取引先からの案兼獲得や既存顧客への消耗品販売増により、二桁増収
欧州	↗	域内の営業体制の強化が奏功して想定以上に消耗品販売が加速、二桁増収
北米	↗	競合撤退の商機の獲得や医療機器メーカーとの協業拡大で、売上は1.5倍増
アジア	↗	中国市場では消耗品販売が好調で増収に寄与。南アジアでの営業活動も奏功

機工事業



販売動向

国内	↘	需要底打ちの兆しが見えてきたものの本格的な販売回復には至らず減収
欧州	↘	ナカニシ製品は増収に転じたものの、再建計画を推進中のイエガーは販売減
北米	↗	ナカニシ製品は前期並みに留まったものの、イエガー製品が復調して増収
アジア	↗	中国市場の需要回復が本格化する中、大型案件の獲得も重なり大幅増収

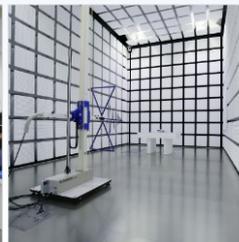
Topics [国内の事業基盤強化]

当社は世界市場でさらなる成長を遂げるべく、開発・生産に係る事業基盤の強化を進めてきました。「Mede in KANUMA」を標ぼうし、歯科・外科・機工の各事業領域の主力製品（主に回転切削機器）のほぼ全てを、鹿沼市で一貫生産しています。



RD1 本社・R&Dセンター

所在地：鹿沼市下日向700
竣工：2017年4月
建設費：約50億円
延床面積：約12,000㎡
就業人数：約360名



A1 部品工場

所在地：鹿沼市深程990
竣工：2018年3月
建設費：約53億円
延床面積：約14,000㎡
就業人数：約350名



A1+ 部品工場

所在地：鹿沼市深程990
竣工：2022年9月
建設費：約18億円
延床面積：約5,500㎡
就業人数：約80名



M1 組立工場・倉庫・修理センター

所在地：鹿沼市下日向700
建設費：約85億円
就業人数：約400名
竣工：2025年4月
延床面積：約20,000㎡



Topics [グローバル販売網の強化]

新しい中期経営計画「NV2030」に掲げた業績目標の達成に向け、世界各市場で海外拠点の機能強化や新設を進めてきました。成長のための重点市場と位置付けている北米では、NSKアメリカ・DCI両社の営業担当者を大幅に増員したほか、アクラカット・インテックの2社を買収しました。このほかにもトルコ・スイスに現地法人を、ポーランド・クロアチアにランチオフィスをそれぞれ設立しました。また、外科事業の販売体制のグローバル化に向け、欧州や南米、中近東の既存拠点に外科事業の営業担当を新たに配置しました。販売網強化は着実に進展しており、さらなるグローバルシェア拡大を目指します。

欧州

強化	NSK Europe	ドイツ ポーランド クロアチア	2003 2026 2026	歯科・外科 歯科 歯科
	NSK France	フランス	2005	歯科
強化	NSK United Kingdom	イギリス	2007	歯科・外科
強化	NSK Dental Spain	スペイン	2008	歯科・外科
	NSK Dental Italy	イタリア	2013	歯科
	NSK Dental Nordic	スウェーデン	2019	歯科
	Nakanishi Jaeger	ドイツ	2022	機工
新設	NSK Schweiz	スイス	2026	歯科

アジア

	NSK Shanghai	中国(上海)	2005	歯科・外科
移転	NSK Asia	タイ	2009	歯科
	NSK Dental Korea	韓国	2014	歯科・外科
強化	NSK Dental Manufacturing	中国(四川)	2023	歯科・外科
	REFINE Medical	中国(桂林)	2023	歯科

北米

増員	NSK America	米国(イリノイ州)	1984	歯科・外科・機工
増員	DCI International	米国(オレゴン州)	2023	DCI
買収	Acra Cut / Intech	米国(マサチューセッツ州)	2026	外科

その他

強化	NSK Middle East	U.A.E.	2000	歯科・外科
	NSK RUS	ロシア	2007	歯科
	NSK Oceania (AU)	オーストラリア	2007	歯科
	NSK Oceania (NZ)	ニュージーランド	2007	歯科
強化	NSK America Latina	ブラジル	2013	歯科・外科
新設	NSK Turkey	トルコ	2025	歯科

Topics [製品ラインアップの強化]

2025年度は、歯科・DCI・外科・機工のすべての事業分野で新製品を発売しました。いずれも市場で高い評価を得ており売上拡大に貢献しています。競争力ある新製品群が加わったことによりさらに強化された製品ラインアップを世界

歯科事業



歯科用ハンドピース(コントラングル)
Ti-Max Z99L



歯科用ハンドピース(コントラングル)
S-Max M94L



予防歯科製品
Varios Combi Pro2

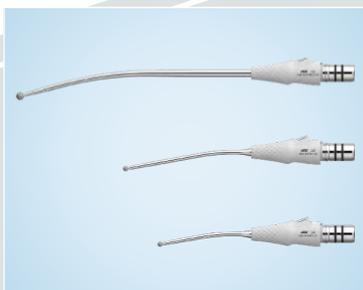


訪問歯科診療製品
VIVAace2

世界140カ国に向けて、販売地域を順次拡大予定



歯科治療用チェアユニット
DCI Edge Series 5+



耳鼻咽喉科用アタッチメント
UniBur



一般産業用モータースピンドル
E3000i



増速スピンドル
NGS-3140-CTZ01

DCI事業

外科事業

機工事業

Topics [表彰・株主還元]

株主還元

株主還元の方針

昨年8月に公表した中期経営計画「NV2030」では株主還元のさらなる拡充を目指すことを目標に掲げました。経営計画の遂行とともに事業規模も拡大し、事業活動によって得られるキャッシュも多くなる見込みです。リスク耐性や成長投資の原資の確保に留まらず、株主還元のさらなる拡充を進めるべく新たに「累進配当制度*」の採用と「総還元性向70%」への引き上げを決定しました。

* 累進配当制度 … 業績変動にかかわらず毎期の配当金を原則として維持または段階的に引き上げる方針を指します。

当期の株主還元

自己株式の取得および期末配当金の増配を行った結果、総還元性向61%・連結配当性向37%*となりました。

* 当期の親会社株主に帰属する当期純利益に「DCI段階取得に係る差益によるのれん償却額」と「DCI減損損失」を戻し入れた調整後純利益を基準に算出しています。

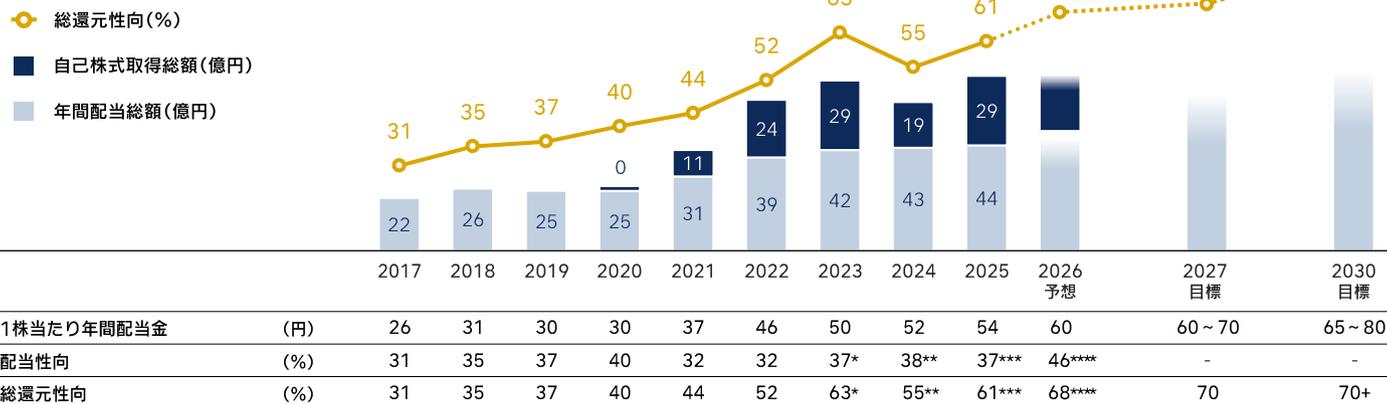
自己株式の取得

取得期間	取得株数	取得総額
2025年2月～12月	1,416,300株	2,926百万円

配当金

中間配当	期末配当	年間総額
一株当たり 26円 (取得総額 2,167百万円)	一株当たり 28円 (取得総額 2,325百万円)	一株当たり 54円 (取得総額 4,493百万円)

株主還元の推移



* … 2023年度の配当性向・総還元性向は、DCI買収に係る特別利益を控除した調整後純利益を基準値として算出

** … 2024年度の配当性向・総還元性向は、ITC減損に係る特別損失を控除した調整後純利益を基準値として算出

*** … 2025年度の配当性向・総還元性向は、DCI減損に係る特別損失を控除した調整後純利益を基準値として算出

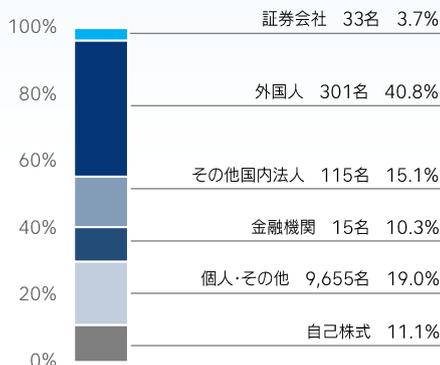
**** … 2026年度の配当性向・総還元性向は、2026年度業績・配当の予想・自己株式取得額を基準に算出した予想値

Stock Information [株式情報]

株式の状況 (2025年12月31日現在)

■発行可能株式総数	375,000,000株
■発行済株式の総数	93,418,200株
■株主数	10,120名

■株式分布状況



■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.5%
中西千代	4,362千株	5.3%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,721千株	4.5%
株式会社日本カストティ銀行 (信託口)	3,250千株	3.9%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.8%
The Chase Manhattan Bank, N.A. LondonseclsLending Omnibus Account	2,953千株	3.6%
中西英一	2,802千株	3.4%
中西賢介	2,774千株	3.3%
足利銀行	2,265千株	2.7%
The Bank of New York Mellon 140042	2,257千株	2.7%

* 当社は自己株式を10,373千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

* 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

会社概要

会社名	株式会社ナカニシ
創業	1930年2月
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金	867百万円
従業員数	連結 2,204名 / 単体 1,107名 (2025年12月31日)
本社	栃木県鹿沼市下日向700
事業所	本社RD1・A1工場・A1+工場・M1工場 東京事務所・大阪事務所・名古屋事務所
グループ会社	NSK America (米国) DCI International (米国) Acra Cut (米国) NSK America Latina (ブラジル) NSK Europe (ドイツ / ポーランド / クロアチア) Nakanishi Jaeger (ドイツ) NSK France (フランス) NSK United Kingdom (イギリス) NSK Dental Spain (スペイン) NSK Dental Italy (イタリア) NSK Dental Nordic (スウェーデン) NSK Schweiz (スイス) NSK RUS (ロシア) NSK Middle East (UAE) NSK Turkey (トルコ) NSK Shanghai (中国) NSK Dental Manufacturing (中国) Refine Medical Instrument (中国) NSK Asia (タイ) NSK Dental Korea (韓国) NSK Oceania (オーストラリア)

役員	代表取締役 社長執行役員	中西英一
	代表取締役 副社長執行役員	中西賢介
	取締役 専務執行役員	鈴木正孝
	社外取締役	野長瀬裕二
	社外取締役	荒木由季子
	社外取締役	汐見千佳
	常勤監査役	播田仁
	社外監査役	馬来義弘
	社外監査役	矢崎弘直
執行役員	社長執行役員 CEO	中西英一
	副社長執行役員 COO	中西賢介
	専務執行役員	鈴木正孝
	執行役員 CFO	鈴木大介
	執行役員	田中章雄
	執行役員	永沼司
	執行役員	宮本幸次
	執行役員	菊地正晃
	執行役員	宇賀神孝

株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日 から 12月31日 まで
定時株主総会	毎年3月開催
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
お知らせ	●住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申し出先 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 ●未払配当金の支払い 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ビジネスレポート印刷冊子の郵送取り止めのご案内

当社は地球環境に配慮した省資源化の取り組みの一環として、ビジネスレポートの印刷冊子の郵送を取り止めまして、その代替として当社のホームページ(<https://www.nakanishi-inc.jp/ir/dataroom/#br>)に掲載しています。ご理解いただきますようお願い申し上げます。